



福西だより

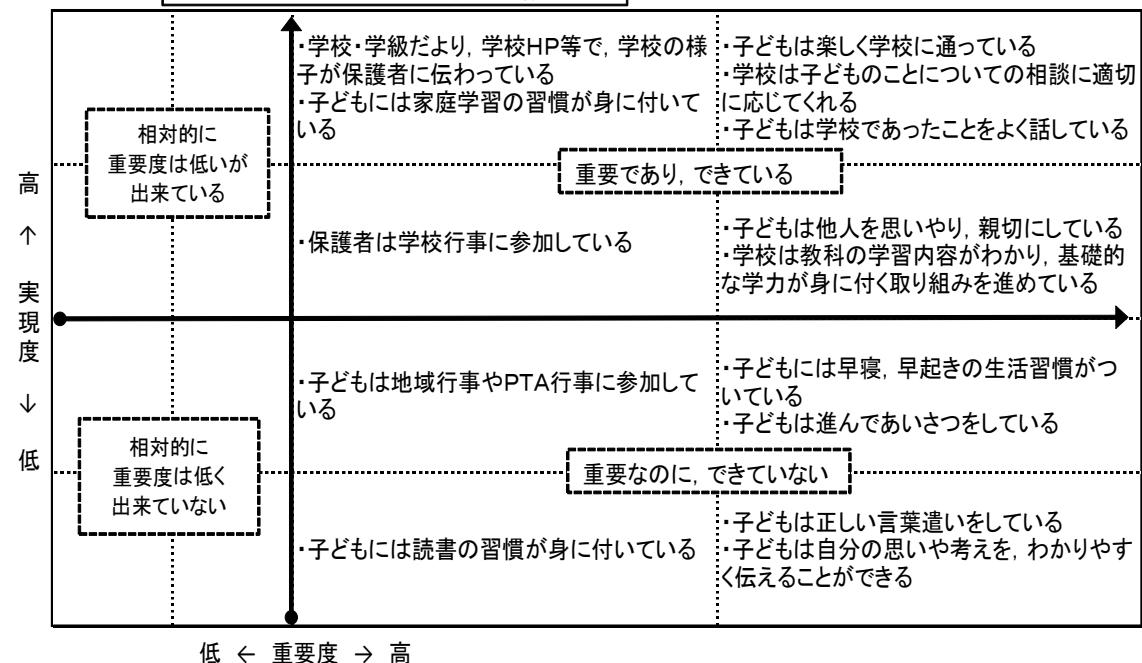
【前期学校評価アンケート】

平成26年度 京都市立福西小学校

7月に学校アンケートを保護者の皆様・児童・教職員を対象に実施しました。その結果をまとめましたのでお知らせします。

今年度は、重要度と実現度の二方向からの分析をしました。(低学年児童は、実現度のみの一方)。二方向とは、教育について何が大切と考えるか(重要度)、そのことが出来ているか(実現度)ということです。保護者対象のアンケートでは、どの質問項目についても重要であると答えた方が90%以上でした。

実現度・重要度の分布表(保護者)



上の表では、右に行くほど〔重要〕であり、上に行くほど〔実現〕出来ていることを表しています。二つを組み合わせてみると、右上に書かれているのが「重要と考えられ、出来ている」項目(福西小の魅力)、右下に書かれているのが「重要なにできていない」項目(福西小の課題)ということになります。この右下の部分が、もっとも改善の必要がある物です。この結果をみると「子どもたちの言葉遣いや」「自分のおもいを伝える力」に課題があると感じておられる方が多いことが分かります。

7月 アンケート結果

学校評価アンケート(保護者・教職員)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
1 子どもは楽しく学校に通っている	保護者 55	40	4	0	1
	教職員 13	69	6	0	12
2 子どもは他人を思いやり、親切にしている	保護者 15	66	14	0	5
	教職員 7	43	36	0	14
3 子どもは正しい言葉遣いをしている	保護者 6	41	43	7	3
	教職員 7	14	65	7	7
4 子どもは進んであいさつをしている	保護者 10	41	43	5	1
	教職員 0	13	54	33	0
5 子どもには早寝、早起きの生活習慣がついている	保護者 20	31	41	8	0
	教職員 0	25	50	6	19
6 子どもには家庭学習の習慣が身に付いている	保護者 22	45	26	7	0
	教職員 6	38	19	6	31
7 子どもには読書の習慣が身についている	保護者 20	25	39	14	2
	教職員 6	44	19	6	25
8 子どもは自分の思いや考えを、わかりやすく伝えることができる	保護者 8	37	42	11	2
	教職員 0	31	50	6	13
9 学校は教科の学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付く取組を進めている	保護者 18	65	10	2	5
	教職員 7	53	7	7	26
10 学校は子どものことについての相談に適切に応じてくれる	保護者 36	50	6	1	7
	教職員 7	67	13	0	13
11 子どもは学校であったことをよく話している	保護者 29	43	23	4	1
	教職員 7	31	31	0	31
12 学校・学級だより、学校HP等で、学校の様子が保護者に伝わっている	保護者 23	61	10	3	3
	教職員 0	77	15	8	0
13 子どもは地域行時やPTA行時に参加している	保護者 12	48	29	7	4
	教職員 7	43	21	0	29
14 保護者は学校行事に参加している	保護者 14	55	25	6	0
	教職員 7	33	40	0	20

学校評価アンケート(高学年・低学年)	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来っていない	わからない
1 学校は楽しいですか	高 47	35	11	2	5
	低 58	26	11	5	
2 友だちやまわりの人を大切にしていますか	高 39	46	8	1	6
	低 52	44	4	0	
3 正しい言葉づかいをしていますか	高 16	48	25	8	3
	低 39	31	22	8	
4 自分から進んであいさつをしていますか	高 42	29	21	6	2
	低 51	24	18	7	
5 早寝、早起きをしていますか	高 25	30	29	14	2
	低 53	23	13	11	
6 家で毎日勉強(宿題)をしていますか	高 55	31	8	5	1
	低 79	9	9	3	
7 自分から進んで読書をしていますか	高 43	27	19	8	3
	低 52	27	14	7	
8 自分の思いや考えを、人にわかりやすく伝えることができますか	高 16	44	25	8	7
	低 41	25	22	12	
9 勉強(授業)はよくわかりますか	高 44	44	6	3	3
	低 61	27	6	6	
10 困ったことは先生に話していますか	高 30	30	14	13	13
	低 50	17	17	16	
11 学校であったことを、お家の人によく話していますか	高 60	21	10	7	2
	低 56	21	12	11	
12 地域には楽しみにしている行事がありますか	高 49	15	15	14	7
	低 73	10	10	7	

(単位 : %)

保護者・教職員の実現度が高いものと低いものは以下のようになっています。

○実現度が高いもの。『子どもは楽しく学校に通っている』

(保護者95%, 教職員81%…よく出来ている+大体出来ているの割合。以下同)。

『学校は相談に適切に応じている』(86%, 73%)。

『学校の様子を保護者に伝えている』(85%, 77%)。

○実現度が低いもの。『読書の習慣が身に付いている』(45%, 50%)。

『自分の考え方や思いをわかりやすく伝える』(45%, 31%)。

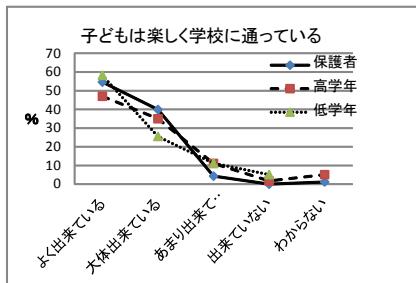
『正しい言葉遣いをしている』(47%, 21%)。

『進んであいさつする』(51%, 13%)。

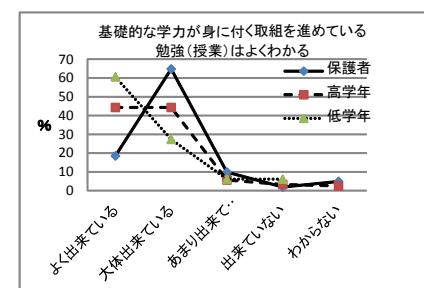


子どもが楽しく学校に通うこと

「子どもは学校に楽しく通っている」と思っている保護者は81%。「学校は楽しい」と答えている高学年児童が82%，低学年児童が84%と大体楽しく通えているようです。でも、「そう思わない」と答えた児童（高学年2%，低学年5%）や「あまり思わない」と答えた児童（高学年11%，低学年11%）に、しっかりと目を向けて、楽しく通えるよう支援していきたいと思います。

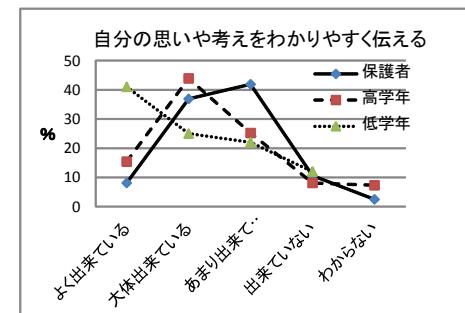


基礎的な学力が身に付く取組を進めている。勉強がよくわかる。



低・高学年児童とも「よく出来ている・大体出来ている」が88%。保護者でも83%になっています。日々どうしたら子どもたちが分かりやすいかを考えながら授業を進めているところですが、さらに考え、工夫していきたいと思います。また、朝の読書や昼のチャレンジタイム・宿題などを活用し、子どもたちの理解度を高めていきたいと思います。

自分の思いや考えを、わかりやすく伝えることができる。



「あまりできていない」が保護者で53%，低学年児童で34%高学年児童で33%と、自分の思いを人に伝えるのが苦手と思っている割合が多くなっています。学校の様々な場面で友だちとの意思の疎通がうまくいかずトラブルになることがあります。生活の中で自分の意思を相手に伝えることはとても重要であり、学校でその力を育てることは大切なことです。そのため、学校では朝のスピーチに毎日取り組み、人前でたくさん話す場をつくっています。また、各教科でも言語活動を取り入れ児童の表現力向上を目指しています。また、授業の工夫とも関係あることですが、子どもたちが主体的に取り組む授業を目指していくことによって子どもたちの発言を活発にし、自分の思いや考えを人にわかりやすく伝える力を育てていきたいと思います。

正しい言葉遣いをしている。進んで挨拶をしている。

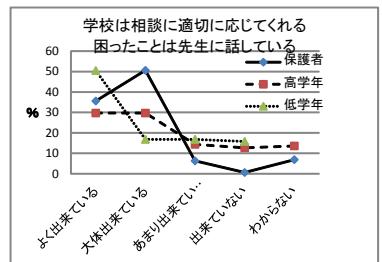
教職員の結果でも、子どもは「正しい言葉遣いをしている」（できていない72%）と「進んで挨拶する」（できていない87%）があまりできていない感じている割合が多くなっています。

「正しい言葉遣い」については、子どもたちも「できていない」が約30%あり、言葉遣いの悪さをある程度自覚しているようです。学校では、授業中の発表の仕方や職員室に用事がある時の話し方等を指導していますが、日々の会話の中でも正しい言葉遣いができるよう、大人も言葉遣いに気を付けながら児童を指導していきたいと思います。

挨拶については、「あまり出来ていない。出来ていない。」が保護者で48%，教職員で87%と多くなっています。でも、大体できていると思っている児童は、高学年で71%，低学年で75パーセントで、児童が挨拶しているつもりでも、相手に伝わるほどはつきりとは挨拶できていないようです。いろんな場面で、目と目を合わせてあいさつ出来るように、その気持ちよさを感じられるようになってほしいものです。

学校と家庭、地域が連携して、色々な機会を捉えて相手のことを大切にする話し方を指導していかなければなりません。

子どもについての相談に適切に応じている。困ったことは先生に相談する



保護者で「大体出来ている」86%と割合が多くなっています。でも、児童では「あまり出来ていない」の割合が約30%と少し多めです。高学年になると思春期に入ってきて、大人に相談しにくいことも増えてくると思います。そのため、子どもたちの様子によく目を配り、大人のほうから声をかけられるようにしていきたいと思います。

